

令和6年度日本学生支援機構奨学金

「特に優れた業績による返還免除」の詳細事項について

日本学生支援機構から、大学院第一種奨学金の貸与を受けている学生で本年度中に貸与が終了する者を対象とした「特に優れた業績による返還免除」について通知がありましたのでお知らせします。

この制度は、在学中に特に優れた業績を挙げたと認められる者を、日本学生支援機構が認定した場合に、奨学金の全額又は半額が返還免除されるというものです。

ついては、返還免除希望者は下記により申請を行ってください。

なお、奨学金の返還免除申請を希望しない場合には、所定の「不希望届」を学生支援チーム（奨学金担当）に下記の提出期限までにご提出くださるようお願いいたします。

記

1. 対象者

第一種奨学生に採用された大学院学生で、令和6年度中に貸与を終了（標準修業年限修了・短縮修了・退学・奨学金辞退等）する者のうち、在学中に特に優れた業績を挙げた者。

奨学金が令和7年4月以降も継続貸与される予定の者であっても、日本学術振興会特別研究員への採用やその他の個人的事情で令和6年度をもって奨学金の貸与を辞退する場合は今年度の返還免除申請の対象者となり、申請は令和6年度に限り行うことができます。

(注) 令和5年度以降に博士課程において第一種奨学生として採用された者で、博士課程在学中に国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が実施する「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業」、「次世代研究者挑戦的研究プログラム」又は「国家戦略分野の若手研究者及び博士後期課程学生の育成事業（BOOST）次世代AI人材育成プログラム（博士後期課程学生支援）」の支援を受けた者は、対象外となります。

2. 提出先（問い合わせ先）及び提出期限

(1) 提出先 教育学研究科学生支援チーム（奨学金担当）

メール：gakuseishien.p@gs.mail.u-tokyo.ac.jp 電話：03-5841-3909

(2) 提出期限 **令和7年1月24日（金）【厳守】**

3. 提出方法

提出書類（電子ファイル）を1つのフォルダ（※）にまとめ、下記のフォルダにアップロードしてください。※フォルダ名は「(修士または博士) + (学籍番号) + (氏名)」とすること

(例：修士 23236000●●●●)。

申請書類受付用フォルダ：

https://univtokyo-my.sharepoint.com/:f:/g/personal/5298474720_utac_u-tokyo_ac_jp/ErK2P2j1G-5ErwNmU-7izWABPNTDdnBo3BES_fUq0xEjTw

4. 提出書類について

(1) 業績優秀者返還免除申請書（様式1）

(2) 特に優れた業績を証明する資料提出一覧表

(3) 特に優れた業績を証明する資料

(4) 大学院第一種奨学金の返還免除不希望届 ※返還免除申請を希望しない場合のみ

※(1)(2)(4)の様式は、学生支援チーム Web サイトよりダウンロードしてください。

<https://www.p.u-tokyo.ac.jp/students/scholarship/>

～提出書類の詳細について～

(1) 「業績優秀者返還免除申請書（様式1）」

【作成上の注意】

「業績優秀者返還免除申請書」の記入に当たっては、別添【業績優秀者返還免除申請書（様式1）の記入要領】及び【（記入例）業績優秀者返還免除申請書】（PDF）を十分に確認してください。

(2) 「特に優れた業績を証明する資料提出一覧表」について

「提出件数」欄に提出する資料の件数を記入してください。また、1つの「項目」中に該当する「小項目」が複数ある場合は「評価順位」欄に順位を記入してください。（研究科から大学本部へ推薦を行う際には業績証明資料を「項目」毎に1点のみ提出することとされているため、「評価順位」はその際の優先順位とします。

なお、この一覧表は、(3)で説明する「特に優れた業績を証明する資料」の表紙となります。

(3) 「特に優れた業績を証明する資料」について

【作成手順】

資料は、表紙となる(2)の「特に優れた業績を証明する資料提出一覧表」に基づいて分類し、その分類記号を各資料の右上に記載してください（資料が複数枚にわたる場合は最初の頁のみ）。なお、同一の分類記号の業績が複数ある場合は資料に枝番号を付してください（例：A-(1)-ハ-1、A-(1)-ハ-2）。また、例年、業績がどの分類に該当するか等について学生支援チームへ問い合わせがありますが、分類等の最終的な判断は申請者ご自身でお願いします。

【注意事項】

- ・ 全て電子データでご提出ください。
- ・ 業績証明資料のファイル形式・必要項目・最大ページ数・ファイル名等については【業績優秀者返還免除申請書（様式1）の記入要領】を十分に確認してください。
- ・ 様式中の「研究科名・専攻名」の欄は、「教育学研究科 総合教育科学専攻」もしくは「教育学研究科 学校教育高度化専攻」となります。コース名ではありませんのでご注意ください。
- ・ 成績証明書については、希望者（※）のみAセメスター（A2ターム）までの成績が記載された成績証明書を学生支援チームより提出しますので、申請時に提出の必要はありません。※希望者は申請書（様式1）の「6. 授業科目の成績」及び「特に優れた業績を証明する資料提出一覧表」の該当欄（「提出件数」、「評価順位」）に必要事項を記入すること。
- ・ 著書等に関する証明資料について、申請者の業績部分を強調するために下線を引く等の工夫は適宜お願いします。
- ・ 教育学研究科でTAやRAに従事したことに関する事務的な証明資料については、委嘱状等の写し（委嘱の時期と内容がわかるもの）で足ります。
- ・ 博士課程の方は、以下のリンク先（日本学生支援機構「特に優れた業績と評価方法」）に掲載されている「博士課程の業績評価に関するガイドライン」を必ずご確認ください。
<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/saiyochu/gyosekimenjo/seidogaiyo/hyoka.html>

(4) 大学院第一種奨学金の返還免除不希望届について

返還免除申請を行わない学生は、必ずご提出ください。

5. その他

認定結果については、日本学生支援機構の業績優秀者免除認定委員会で認定後、令和7年7月下旬以降に日本学生支援機構又は本学から各申請者に通知します。

令和6年12月23日
教育学部学生支援チーム